

《担当者名》八木こずえ [co-yagi@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

目標：文献検討や臨床体験から、精神看護の発展に意義のある看護現象を研究課題として捉え、一連の研究活動を通じて、基礎的な研究能力を養うことができる。

範囲：精神障害者の看護実践に影響を与える内容やメンタルヘルスに関連する領域

【学修目標】

1. 文献検討や臨床疑問を研究課題として捉え直し、適切な研究方法を選び、研究計画書を作成できる。
2. 研究計画書に沿った研究活動を行い、論文を作成できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	研究テーマの模索と文献検索	1) 文献を広く読みながら精神看護学における研究テーマを概観する 2) 関心のあるテーマの文献検索を進めていく	八木
	研究計画書の作成とデータ収集	1) 研究課題を明確化し、研究計画書の作成を進めていく 2) 研究課題に適した研究方法についての学習を進める 3) ゼミにて教員や院生同士の意見交換の中で、焦点を絞り込み構想を固めていく 4) 研究テーマや方法に適した研究対象者の選定やデータ収集に向けて、具体性を盛り込みながら体験的に学ぶ 5) 研究における倫理的配慮について必要な考えや手続きを実行し学ぶ。 6) 倫理的配慮のもとで適切なデータ収集を行う	
	データ分析と考察、論文作成	1) 適宜、教員の指導を受けながら、得られたデータを研究方法に従って、適切に分析し考察を深めていく 2) 論文作成のルールを遵守して、論文を仕上げる 3) 研究成果が正しく伝わるよう工夫して、論文要旨や資料作成、プレゼンテーションを行う	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究の準備状況、取り組み姿勢、研究法方法の選択や実施の適切性が50%、主査、副査からの論文に関する評価が50%。

【学修の準備】

実践から得られた問題意識を研究疑問に置き換えられるよう、先行文献の検索・検討を行うこと